2026 年 11 月 25 日

各　位

会 社 名　株式会社ショーケース
代表者名　代表取締役社長　松本　高一
（コード番号：3909 東証スタンダード）
問合せ先　経営企画部部長
清水　幸雄
（TEL 03-6866-8555）

「ProTech ID Checker」にユーザーID ごとに閲覧範囲を設定できる「閲覧権限ロール管理機能」を追加

～担当者の業務範囲に応じたアクセス制御を設定、個人情報の適切な管理と本人確認業務の効率化を支援～

当社が開発・提供する本人確認ツール「ProTech ID Checker」において、対面・非対面の本人確認情報を一元管理し、管理画面にアクセスするユーザーID ごとに閲覧範囲を設定できる「閲覧権限ロール管理機能」の提供を開始しました。

本機能により、複数の店舗・部署・申込チャネルで実施する本人確認情報を一つのサービスで管理しながら、担当者の役割や業務内容に応じたアクセス制御が可能になります。本人確認業務の効率化と個人情報の適切な管理を両立し、企業の柔軟な運用を支援します。また、読み取った個人情報を外部に送信せず、端末内で読み取り・表示が完結する完全オフライン設計を採用。外部送信に伴う情報漏えいリスクの抑制につなげます。



■背景

対面・非対面の本人確認を異なるシステムで管理している場合、管理画面の使い分けが必要となり、管理業務の煩雑化や運用コストの増加につながります。また、複数の店舗・部署・申込チャネルで本人確認情報を取り扱う企業では、担当者の役割や業務範囲に応じて閲覧できる情報を制限するなど、適切な閲覧権限の管理が求められています。

こうした課題に対応するため、「ProTech ID Checker」では、ユーザーID 単位で閲覧範囲を設定できる「閲覧権限ロール管理機能」を追加しました。対面・非対面の本人確認情報を一元管理しながら、担当者ごとの業務範囲に応じた情報管理が可能になります。

■新機能の特長

1.　ユーザーごとに閲覧可能な情報を制御

管理画面にアクセスするユーザーID ごとに閲覧権限を設定し、各ユーザーが閲覧できる本人確認情報の範囲を制限できます。

例えば、店舗担当者には担当店舗の本人確認情報のみを表示し、本部管理者には複数チャネルの本人確認情報を閲覧できる権限を付与するなど、組織体制や業務内容に応じた柔軟なアクセス管理が可能になります。

2.　必要な情報へのアクセスに限定し、個人情報の適切な管理を支援

本人確認情報には、氏名・住所・生年月日などの重要な個人情報が含まれます。本機能では、担当者の役割や業務範囲に応じて閲覧できる情報を制限することで、業務上不要な個人情報へのアクセスを抑制します。

これにより、最小権限の原則に基づいた情報管理を支援し、企業の内部統制や情報セキュリティの強化に貢献します。

3.　対面・非対面の本人確認情報を一元管理

店舗・窓口などで実施する対面の本人確認と、Web サイトやスマートフォンなどで実施する非対面（オンライン）の本人確認情報を一元管理できます。

これにより、本人確認業務に別々の管理システムを用意する必要がなくなり、管理画面の集約による業務負担の軽減と運用効率化を支援します。

■想定される利用シーン

金融機関

店舗窓口での本人確認と、Web サイトでの口座開設などのオンライン本人確認を一元管理。店舗担当者と本部担当者など、それぞれの役割に応じて閲覧範囲を設定できます。

複数店舗を展開する事業者

店舗ごとに本人確認情報の閲覧範囲を制限しながら、本部では各店舗の本人確認状況を横断的に管理できます。店舗間での情報アクセスを適切に制御しながら、全体の管理業務を効率化します。

金融機関

サービスや申込チャネルごとに本人確認情報の閲覧範囲を設定し、担当部署や業務内容に応じたアクセス管理を実現します。

■今後の展望

当社は今後も「ProTech ID Checker」の機能拡充を通じて、多様化する本人確認業務のニーズに対応してまいります。

本人確認の厳格化への対応に加え、企業の運用負担の軽減や個人情報の適切な管理を支援することで、安全性と利便性を兼ね備えた本人確認基盤の提供を目指してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ショーケース　IR 担当

TEL：03-5575-5102

Mail：ir@showcase-tv.com